

令和3年度事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び青森県肉用牛協会が再編統合し名称を「(社)青森県畜産協会」に変更した。

平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年4月1日に青森県知事から移行認可を得て「一般社団法人青森県畜産協会」に移行した。

2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定向上及び安全で良質な畜産物の生産と流通に関する事業を行い、畜産の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に係る生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に係る調査・研究及び情報の収集・提供並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 草地基盤や自給飼料に係る調査・指導及び放牧促進に関する事業
- (5) 畜産物に係る普及啓発及び流通・消費拡大に関する事業
- (6) 経営安定のための肥育牛及び肥育豚に係る生産者積立金及び補填金の交付等に関する事業
- (7) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛生産者補給金の交付等に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に係る技術指導及び予防接種並びに家畜伝染病の発生時における損失補填金の交付等に関する事業
- (9) 農場の生産衛生の指導及び検査並びに畜産物の安全性確保に関する事業
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

5. 会員の状況

区 分	年度当初 会員数	令和3年度		年度末 会員数	備 考
		増	減		
正 会 員	83	0	1	82	東青畜産農業協同組合
賛助会員	4	0	0	4	
計	87	0	1	86	

6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル2F）

7. 役員に関する事項

(1) 役員の変動

区 分	氏 名	所 属 団 体	年月日
任期満了 退任・理事	松 尾 和 彦	三八畜産衛生協議会 理事(三戸町)	R3.6.29
就任・理事	若 宮 佳 一	三八畜産衛生協議会 理事(五戸町)	R3.6.29
就任・理事	倉 光 弘 昭	津軽地区家畜衛生推進協議会 会長 (つがる市長)	R3.6.29
就任・監事	斗 澤 康 広	十和田おいらせ農業協同組合 代表理事専務	R3.6.29

8. 職員に関する事項

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	備 考
12	3	0	15	
	石山 治 熊谷 伸城 相澤 里佳			(正職員 6名、嘱託 2名、臨時 4名、 管理獣医師 1名、非常勤を除く。)

9. 総会及び理事会の開催に関する事項

(1) 第1回理事会

令和3年5月21日、アップルパレス青森

理事現在数13名、出席理事10名、出席監事1名

〔議決事項〕

第1号議案 令和2年度事業報告及び計算書類等の承認について

第2号議案 令和3年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和3年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について

第4号議案 令和3年度事業計画書及び収支予算書等の決定について

第5号議案 任期満了に伴う役員候補者について

第6号議案 獣医師養成確保修学資金給付事業 実施規程細則の一部変更について

第7号議案 第18回定時総会の開催期日及び提出議案について

第8号議案 第2回理事会の開催について
〔報告事項〕 (1) 業務の執行状況について
(2) 公益目的支出計画実施報告書について

(2) 第18回定時総会（書面表決）

令和3年6月29日、青森県畜産協会会議室

〔議決事項〕

- 第1号議案 令和2年度事業報告書及び計算書類の承認について
- 第2号議案 令和3年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について
- 第3号議案 令和3年度事業計画書及び収支予算書の報告について
- 第4号議案 役員の変更について

(3) 第2回理事会（書面議決）

令和3年7月13日

理事現在数14名、同意理事14名、承認監事2名

〔議決事項〕

- 第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選定について

(4) 第3回理事会（書面議決）

令和3年10月29日

理事現在数14名、同意理事14名、承認監事2名

〔議決事項〕

- 第1号議案 東青畜産農業協同組合の解散による預り運営基金の返還について
- 第2号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部変更について
- 第3号議案 家畜防疫互助事業業務方法書の廃止について
- 第4号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務委託先団体の追加について

(5) 第4回理事会（書面開催）

令和4年2月22日

理事現在数14名、監事現在数2名

〔議決事項〕

- 第1号議案 令和3年度事業計画書及び収支予算書の変更（補正）について
- 第2号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書について（暫定）
- 第3号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の変更及び事業推進について
- 第4号議案 理事の取引（利益相反）の承認について

〔報告事項〕 (1) 業務の執行状況について

(2) 令和3年度青森県公社等経営評価委員会評価結果について

10. 監事会等の実施状況

(1) 監事会

期日場所：令和3年5月18日、青森県畜産協会 会議室

〔監査事項〕 令和2年度会計事務及び業務に関する監査について

(2) 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

① 令和3年5月17日、 令和2年度決算財務調査について

② 令和3年11月26日、 令和3年度財務調査（前期）について

③ 令和4年3月7日、 令和3年度財務調査（後期）について

④ 令和4年3月31日、 予防事業ワクチン在庫の現地確認調査（十和田市、八戸市）

11. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金（正会員等63団体）

（単位：円）

区 分	経営支援（価格安定）			家畜衛生	合計
	肉用子牛	肉 豚	（計）		
期首残	256,010,000	178,100,000	434,110,000	37,260,000	471,370,000
増 減	△100,000	0	△100,000	0	△100,000
期末残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000

注：①肉用子牛に全国肉用牛振興基金協会からの5,000,000円を含む。

②預り運営基金の減額は、東青畜産農業協同組合への脱退に伴う返還額。

(2) 寄 託 金

（単位：円）

団 体 名	区 分	家畜衛生	備 考
地区家畜衛生推進協議会 （5地区）	期首残	17,496,000	
	増	0	
	取 崩	△ 4,374,000	
	期末残	13,122,000	

12. 会員名簿

(1) 正会員

R4.3.31 現在

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青 森 県	42	青森県軽種馬生産農業協同組合
2	青 森 市	43	(公社)青森県獣医師会
3	弘 前 市	44	(一社)青森県配合飼料価格安定基金協会
4	八 戸 市	45	(一社)青森県養豚協会
5	黒 石 市	46	青森県養鶏協会
6	五 所 川 原 市	47	青森農業協同組合
7	十 和 田 市	48	つがるにしきた農業協同組合
8	三 沢 市	49	ごしょつがる農業協同組合

9	む つ 市	50	つがる弘前農業協同組合
10	つ が る 市	51	津軽みらい農業協同組合
11	平 川 市	52	十和田おいらせ農業協同組合
12	平 内 町	53	ゆうき青森農業協同組合
13	今 別 町	54	おいらせ農業協同組合
14	外ヶ浜 町	55	八戸農業協同組合
15	蓬 田 村	56	三戸畜産農業協同組合
16	鯉ヶ沢 町	57	五戸畜産農業協同組合
17	深 浦 町	58	三本木畜産農業協同組合
18	藤 崎 町	59	青森県七戸畜産農業協同組合
19	鶴 田 町	60	田名部畜産農業協同組合
20	中 泊 町	61	大間町畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	62	深浦畜産農業協同組合
22	七 戸 町	63	袖平牧野畜産農業協同組合
23	六 戸 町	64	田代牧野畜産農業協同組合
24	横 浜 町	65	深持牧野畜産農業協同組合
25	東 北 町	66	奥瀬牧野畜産農業協同組合
26	おいらせ町	67	法量牧野畜産農業協同組合
27	六ヶ所 村	68	東青地区家畜衛生推進協議会
28	大 間 町	69	三八畜産衛生協議会
29	東 通 村	70	上十三地区家畜衛生推進協議会
30	佐 井 村	71	むつ地区家畜衛生推進協議会
31	三 戸 町	72	津軽地区家畜衛生推進協議会
32	五 戸 町	73	(公社)あおもり農業支援センター
33	田 子 町	74	つがる市屏風山畜産組合
34	南 部 町	75	(農) 和平高原開発農場
35	階 上 町	76	(農) 北栄トラクター利用組合
36	新 郷 村	77	(農) 吹越台地飼料生産利用組合
37	青森県農業協同組合中央会	78	青森シャモロック生産者協会
38	全国農業協同組合連合会青森県本部	79	青森県養蜂協会
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部	80	雪印種苗(株)十和田営業所
40	青森県農業共済組合	81	ヤマアグリジャパン(株)東日本カンパニー東北営業部青森事務所
41	青森県畜産農業協同組合連合会	82	みらいのアグリ(株) (北原電牧)

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	3	津軽地域馬肉振興協議会
2	青森県動物薬品器材協会	4	サージミヤワキ(株)札幌営業所

13. 役員名簿

R4.3.31 現在

役 職	氏 名	区分	所 属 団 体
会 長	小山田 久	非常勤	十 和 田 市 市 長
副 会 長	山 崎 憲 久	非常勤	上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
副 会 長	山 美 喜 正	非常勤	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員
専務理事	菅 慶一郎	常 勤	学 識 経 験 者
理 事	小 又 勉	非常勤	七 戸 町 町 長
理 事	戸 田 衛	非常勤	六ヶ所村 村長
理 事	小山田 富 弥	非常勤	(公社)青森県獣医師会 会長理事
理 事	倉 光 弘 昭	非常勤	津軽地区家畜衛生推進協議会 会長 (つがる市長)
理 事	若 宮 佳 一	非常勤	三八畜産衛生協議会 副会長 (五戸町長)
理 事	山 内 正 孝	非常勤	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	布 施 久	非常勤	(一社)青森県養豚協会 会長理事
理 事	乙 部 輝 雄	非常勤	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理 事	千 葉 準 一	非常勤	青森県農業共済組合 理事
理 事	金 子 春 雄	非常勤	(一社)青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
代表監事	白 戸 勝 一	非常勤	学 識 経 験 者
監 事	斗 澤 康 広	非常勤	十和田おいらせ農業協同組合 代表理事専務

II 事業別実績概要

一般会計

1 経営支援対策 (継続1)

1. 補助事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (機構補助)

①肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 (事業費 7,071,748円)

ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等事務推進に努めた。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告を行った。

イ 指定協会調査指導

協会の業務規程に基づき、協会が事務を委託する者が行う委託事務の執行についての点検、調査及び指導を実施し、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に努めた。

②指定協会運営体制支援事業 (事業費 5,772,968円)

肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行するため、協会の運営体制の充実を図った。

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業 (機構補助・事業費 8,995,433+4,730円)

肉用牛生産が中山間地域の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしていることを踏まえ、繁殖雌牛の増頭の取組や高齢化等に対処するため肉用牛ヘルパー組織を支援し、多様な肉用牛経営の実現を図った。

①中核的担い手育成増頭推進 (補助単価：80,000円、100,000円)

計画的に高能力の肉専用種繁殖雌牛を増頭した者への奨励金の交付

(8戸、13頭、1,200,000円)

②優良繁殖雌牛導入支援 (補助単価：40,000円、50,000円)

優良な繁殖雌牛を導入し繁殖農家に貸し付けた場合の奨励金の交付 (2戸、4頭、200,000円)

③肉用牛ヘルパー推進 (補助率：1/2)

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助 (2団体 6,230,734円)

④肉用牛振興推進指導

推進会議等の開催、事業推進指導の実施 (1,364,699+4,730円)

(3) 地域畜産支援指導等体制強化事業 (地全協補助・事業費 12,536,000円)

畜産農家の安定的経営を目的に基幹職員を配置し、国及び県等の各種事業の推進による畜産指導を効果的に行う体制を整備強化した。

ア 畜産経営の支援体制強化 (内数で事業費 3,783,950円)

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

- (4) 堆肥利用ネットワーク推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 835,495円）
県内の畜産農家が生産する堆肥の品質向上のために耕種農家と連携した堆肥利用体制の確立を図った。
ア 畜産堆肥展示会 2回
イ 堆肥分析 4件
- (5) 地域豚疾病低減対策強化事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 325,712円）
飼養管理基準に基づき豚疾病の低減・清浄化を目的に防疫対策の強化を図るため推進会議を開催した。また専門獣医師による巡回指導モニタリング検査を実施し、検証を図った。
- (6) 若手及び女性農業者支援事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,440,849円）
畜産をめぐる厳しい情勢に対応するため、女性や若手の経営意識を高め、地域一丸となって生産技術の向上に努める必要があることから、畜産に携わる女性や若手経営者を中心とした研修会等を開催し、生産技術の向上を図った。
ア 畜産あおもり若手女子会（R4.3.22 つがる市）10名
イ 東通村肉牛婦人部（R3.12.7、東通村）14名
- (7) 県産畜産物普及拡大推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,181,304円）
県産食肉等（牛、鶏、ハチミツ）について、消費拡大及び普及啓蒙を図るため消費者等に向けたセールスプロモーション等を開催した。
ア 短角牛のPR活動：4回（十和田市）
イ 短角和牛フェアにおける産地関係者による意見交換会（東京都12/6・7、7名）
- (8) 食育等の推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 2,070,962円）
食育事業として、食に関する知識を深めることを目的に消費者等を対象に県畜産物の安全性等をアピールするため乳和食料理教室・食育講話を開催した。また、食育をテーマとしている地域の情報誌を活用し畜産PRを図った。また、食育に関するアンケート調査を実施した。
①乳和食料理教室 青森市 参加者10名
②食育講話 深浦町7名、五所川原市金木 23名、弘前市 46名（中止・食材提供）
③地域の情報誌を活用し畜産をPR（25,000部/年4回）
④消費者を対象とした食育に関するアンケート調査（消費者）52名
⑤養蜂家が日常どのような作業をしているのか理解を深めるため弘前市にある養蜂場を見学した。
- (9) 地域畜産振興対策事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,061,753円）
地域の畜産振興を図るため各地域の畜産共進会等に支援を行った。
- (10) 畜産現場における障害者の就労支援事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 599,630円）
障害者の畜産現場への雇用を推進するため、検討委員会 2回（書面）、畜産現場の見学会 2回、畜産現場の作業体験 4回を行った。

(11) 馬事活性化推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,236,345円）

地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県内畜産物の消費拡大を図るため、八戸サラブレッド市場、盛岡競馬及び水沢競馬場の開催に合わせ畜産フェアを開催し、県畜産物を配布。

八戸市（7月6日）150個、盛岡市、（10月31日）150個、水沢市（6月20日）200個

(12) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 4,908,866円）

畜産特別資金が必要であると思慮される経営体の早期把握に努め、事業の適正かつ円滑な実施を図るため、融資機関及び借入者に対する必要な指導その他必要な支援を行った。

①計画作成指導〔貸付者 0戸〕

②改善計画見直し指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導
(新) 大家畜特別支援資金	2戸	2戸	2戸
(改) 大家畜特別支援資金	1戸	1戸	1戸
計	3戸	3戸	3戸

③改善計画達成指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
畜産経営改善緊急支援資金(大家畜)	4戸	4戸	4戸	0戸
畜産経営維持緊急支援資金	3戸	3戸	3戸	1戸
計	7戸	7戸	7戸	1戸

(13) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（機構補助・事業費 180,000円）

新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の下落に伴い子牛価格が急落したため、肉用子牛の生産基盤の維持・強化を図るため、経営改善メニューに取り組んだ生産者に対し、肉用子牛の品種区分のうち、その他肉専用種において全国平均価格（月別）が発動基準を下回ったので販売頭数に応じて奨励金を交付した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の契約者

②奨励金：その他肉専用種 6頭、180,000円（@30,000円）

(14) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（機構補助・事業費 3,760,492円）

令和2年から3年までの冬期の雪害により被災した牛舎、飼養管理の附帯施設等の補改修を支援して肉用牛経営の安定を図った。

①対象生産者：2戸（牛舎の屋根及び飼料保管庫の屋根の破損）

②補改修支援：3,636,450円（補改修費の2分の1以内）

2. 受託事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構委託・事業費 10,168,834円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費との差額の9割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度で、肉用牛生産基盤の拡大に寄与するものである。

協会は、積立金管理者として機構からの業務委託により当該業務を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の低下により、令和2年4月から全品種共に積立金の納付を猶予していたが令和3年6月から徴収を再開した。

また、肉専用種については、補填金発動が続いたことから、協会の管理する積立金が枯渇したため、積立金からの補填金交付を停止して、国負担分の4分の3のみを交付した。

令和3年度は、各品種共に粗収益が生産費を下回ったため、継続的に補填金の交付を行い経営の安定に資した。

①対象家畜：

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計	備考
積立金取扱頭数	4,886 頭	5,264 頭	9,065 頭	19,215 頭	

②交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の9割

③事業推進委託等（事務委託先：12団体）

④補填金の交付状況（令和3年4～3月支払分）（単位：円）

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
機構交付金	35,202,690	102,750,064	299,287,327	437,240,081
生産者積立金	1,546,563	7,295,129	47,451,080	56,292,772
計	36,749,253	110,045,193	346,738,407	493,532,853

⑤令和3年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
1頭当たり積立金	5,000円	13,000円	11,000円	

(2) 肉豚経営安定交付金制度（機構委託・事業費 0円）

肉豚経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費の差額の9割を補填することにより肉豚経営の安定を図る制度であり、事業内容の問い合わせに対応した。

また、1戸の養豚生産者と申請事務等委託契約を締結し、生産者が提出する書類の作成代行等の事務を行った。

(3) 畜産経営支援体制確立事業（県委託・事業費 2,400,000円）

高度な技術を基盤とした生産性の高い畜産経営体を広範かつ急速に育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行い畜産の振興を図った。

①地域指導相談窓口の配置 4か所（青森市3か所、六ヶ所村）相談件数 61件

②畜産経営技術の総合支援個別支援 77件

③ホームページによる情報提供 12回更新（家畜市場成績、県内畜産イベント情報等）

(4) 畜産クラスター全国実態調査事業（中央畜産会委託・事業費 163,682円）

畜産クラスターの取組推進に係る経営体の指標作成のための調査を行った。（2戸）

(5) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業・機械導入事業）

（中央畜産会委託・事業費 3,763,047円）

畜産クラスター計画に位置づけられている地域の中心的な経営体に対し、収益力強化等に
必要な機械装置の導入支援を行った。

区 分	補助金配分件数	うち参加申請件数	うち承認件数	備 考
令和元年度	28 件	19 件	19 件	
令和2年度	52 件	48 件	48 件	
令和3年度	137 件	74 件	33 件	
計	217 件	141 件	100 件	

令和3年度の補助金配分額	259,126,000円
平成28年度～令和3年度の配分合計額	2,018,120,000円
上記の事業を実施した県内の畜産クラスター協議会数	8 協議会

(6) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会委託・事業費 238,615円）

畜産を営む者における労働力軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資する機械装置(餌寄
せロボット1台)の導入支援を行った。

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備 考
機械装置導入事業	3,916,000	1,780,000	2,136,000	

(7) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 1,738,413円）

生産者の組織整備（仲間づくり）と畜産協会内に経営技術、制度資金等各種相談に応ずる専
門家（畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、HACCP指導相談員等）を活用
した畜産経営窓口を整備した。

(8) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）

（中央畜産会委託・事業費 729,798円）

酪農家による省力化機械装置(搾乳ロボット4台、ほ乳ロボット2式、自走式配餌車1台)の
導入を行った。

区 分	台数	総事業費	国庫補助金	その他	備 考
搾乳ロボット	4	160,079,700	72,763,500	87,316,200	
ほ乳ロボット	2	18,040,000	8,200,000	9,840,000	
自走式配餌車	1	1,925,000	875,000	1,050,000	
計		180,044,700	81,838,500	98,206,200	

(9) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 307,381円）

畜産経営の近代化と体質強化を図るため、畜産関係機械施設のリース事業により整備したト

ラクター等飼料生産利用設備及び生乳生産合理化施設の利用状況調査・指導並びに新規開拓に係る調査を行った。

①利用状況調査・指導：9戸、基数：18基

②新規開拓調査：2団体

(10) 草地難防除雑草駆除技術実証事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 471,935+20,927 円）

草地の生産性向上を図る上で課題となっている難防除雑草の駆除対策として農業者団体が行う難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を図るための支援を行った。

（調査分析：1/2 以内、草地転換：上限 17 千円/10a）、草地転換面積 24.5ha、事業参加戸数 5 戸

(11) 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会委託・事業費 1,598,175 円）

畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に増頭実績に応じた奨励金を交付し、牛肉の国内需要の増加と輸出拡大の推進を図った。

①奨励金単価：飼養頭数 50 頭未満 246 千円、50 頭以上 175 千円

②対象上限：1 対象者当たり 50 頭を上限

③奨励金：116 戸、315 頭、72,236,000 円

(12) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）

（中央畜産会委託・事業費 1,864,557 円）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減少により枝肉価格が低下し、肥育農家の経営悪化が懸念されたことから、経営の体質強化への取組を支援するため取組を行った肥育生産者に奨励金を交付した。（令和 2 年度対象牛への交付事務）

①対象者：肥育経営者 119 戸

②奨励金：@20,000 円×5,740 頭=114,800,000 円（R3. 1～3 月分）

(13) 肥育牛経営改善等緊急対策事業（肥育牛経営等緊急支援特別対策事業）

（中央畜産会委託・事業費 2,863,703 円）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減少により枝肉価格が低下し、肥育農家の経営悪化が懸念されることから、経営の体質強化への取組を支援するため取組を行った肥育生産者に奨励金を交付した。（令和 3 年度対象牛への交付事務）

①対象者：肥育経営者 116 戸

②対象牛：4 月・5 月分に販売された肥育牛

③奨励金：@20,000 円×4,026 頭=80,520,000 円

3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 4,888,290円）

肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先 12 団体に対し、委託事務に要する経費等を助成した。

(2) 畜産振興対策事業（事業費 304,084円）

① 広報事業

生産技術の普及向上のため、各地域の畜産共進会に副賞を授与した。また、「畜産協会だより」を2回（600部）発行し配布した。

② その他畜産振興に対する支援を行った。

4. 馬事畜産振興対策事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県内の畜産物の消費拡大を図るため、テトラック十和田において畜産フェアを開催し、県畜産物を配布した。

畜産フェア（R3. 8. 29 十和田市）100個

また、盛岡競馬場の観戦ツアーを開催した。

盛岡競馬場観戦ツアー（R3. 10. 24 岩手県盛岡市）42名

5. 養蜂対策事業

青森県養蜂協会の事務局として「はちみつ品評会」を開催し、はちみつの品質向上を図った。

はちみつ品評会（R3. 10. 12 青森市）出品数 70点

6. 飯田養豚場（横浜町）日本農林漁業振興会長賞受賞

令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会（中央畜産会主催）において農林水産大臣賞を受賞した「有限会社飯田養豚場」が第60回農林水産式典で農林水産祭三賞の日本農林漁業振興協会会長賞を受賞した。

農林水産祭三賞は、前年度の農林水産祭参加表彰行事で農林水産大臣賞を受けた中から選ばれ、農林水産関係の表彰制度の最高位である天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興協会会長が三賞となる。青森県の三賞受賞は、畜産部門においては平成23年の金子ファーム（日本農林漁業振興協会会長）以来10年ぶりとなり、養豚では初めてです。

特別会計

1. 補給金事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度（機構補助・積立助成金 14,520,200円、補てん金 1,566,300円）

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格を下回った場合にその価格差を補填する肉用子牛生産者補給金制度を実施した。

令和3年度は第7業務対象年間の2年目であり、「その他の肉専用種」（日本短角種等）については平均売買価格が保証基準価格を下回り、発動となった。子牛の個体登録頭数では、黒毛和種のみ前年度より増加し、他の品種は減少した。乳用種は前年比77.3%の1,658頭、全体で前年比108.0%の10,111頭となった。

① 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

区分	個人	農協	農事組 合法人	株式 会社	有限 会社	市町村	その他	計
29年度末	747	3	2	5	4	1	0	762
30年度末	750	3	2	5	4	1	0	765
元年度末	760	3	2	6	4	1	0	776
2年度末	666	3	1	13	9	0	2	694
3年度末	673	3	1	15	10	0	2	694

② 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

区 分	総合農協	専門農協	そ の 他	計
29年度末	8	5	1	14
30年度末	8	5	1	14
元年度末	8	5	1	14
2年度末	8	5	1	14
3年度末	8	5	1	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	計
継続	1,509	0	37	0	0	1,546
新規	4,888	0	24	1,658	1,995	8,565
計	6,397	0	61	1,658	1,995	10,111

④ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円/頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

⑤ 肉用子牛1頭当たりの生産者積立金及び負担区分（令和2年4月登録分より）

(単位：円)

品種区分	生産者積立金	負 担 区 分		
		農畜産業振興機構	青 森 県	生 産 者
黒 毛 和 種	1,600	800	400	400
褐 毛 和 種	6,000	3,000	1,500	1,500
その他肉専用種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳 用 種	6,800	3,400	1,700	1,700
乳 交 雑 種	3,200	1,600	800	800

⑥ 生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品 種	個体登録頭数	積立金 単価	積立金 所要額	負 担 区 分		
				機構 (1/2)	青森県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和牛	継続	1,509	1,600	—	—	603,600
	新規	4,888	1,600	—	—	1,955,200
	計	6,397	—	10,235,200	5,117,600	2,558,800
褐毛和種	継続	0	6,000	—	—	0
	新規	0	6,000	—	—	0
	計	0	—	0	0	0
その他 肉専用種	継続	37	18,800	—	—	173,900
	新規	24	18,800	—	—	112,800
	計	61	—	1,146,800	573,400	286,700
乳用種	継続	0	6,800	—	—	—
	新規	1,658	6,800	—	—	2,818,600
	計	1,658	—	11,274,400	5,637,200	2,818,600
乳用 交雑種	継続	0	3,200	—	—	0
	新規	1,995	3,200	—	—	1,596,000
	計	1,995	—	6,384,000	3,192,000	1,596,000
合 計	継続		—	—	—	777,500
	新規		—	—	—	6,482,600
	計	10,111	—	29,040,400	14,520,200	7,260,100

(注) 個体登録頭数は令和3年1月～令和3年12月分

⑦ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分			乳用種の品 種	肉専用種と乳用 種の交雑の品種	合 計		
		黒毛和種	褐毛和種	黒毛和種及び 褐毛和種以外の 肉専用種の品種					
1 期 首 残 高	内 訳	①生産者積立金	7,885,620	0	782,622	14,247,661	5,840,818	28,756,721	
		②生産者積立準備金	—	—	—	—	—	133,292,300	
		③生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	—	3,091,796
		④都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	—	130,200,504
		⑤機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	—	0
2 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	内	⑥生産者積立金純増加額(⑨+⑫+⑮+⑱)	7,072,800	0	686,200	8,455,800	4,788,000	21,002,800	
		⑦生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	3,162,400	0	460,600	2,818,600	1,596,000	8,037,600	
		⑧ 計	10,235,200	0	1,146,800	11,274,400	6,384,000	29,040,400	
	内 訳	生産者	⑨負 担 金	1,955,200	0	112,800	2,818,600	1,596,000	6,482,600
			⑩生産者積立準備金(③からの繰入額)	603,600	0	173,900	0	0	777,500
			⑪ (小計)	2,558,800	0	286,700	2,818,600	1,596,000	7,260,100
		都道府県	⑫生産者積立助成金	0	0	0	0	0	0
			⑬生産者積立準備金(④からの繰入額)	2,558,800	0	286,700	2,818,600	1,596,000	7,260,100
			⑭ (小計)	2,558,800	0	286,700	2,818,600	1,596,000	7,260,110
		機 構	⑮生産者積立助成金	5,117,600	0	573,400	5,637,200	3,192,000	14,520,200
			⑯生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	0	0	0	0	0	0
			⑰ (小計)	5,117,600	0	573,400	5,637,200	3,192,000	14,520,200
			その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄附又は 補助された財産	0	0	0	0	0
3 他 の 資 産 か ら の 繰 入 状 況 等	⑲特別の積立金から生産者積立金への繰入れた金額	0	0	0	0	0	0		
	⑳調整積立金から生産者積立金への繰入れた金額	0	0	0	0	0	0		
	㉑交付した補給金の生産者からの返還額	0	0	0	0	0	0		
	㉒生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0	0		
	㉓生産者積立金に係る運用果実	95	0	11	161	69	336		
	㉔生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—	42,767		
	㉕生産者補給金交付額(㉑を含む)	0	0	0	0	0	0		
	㉖生産者積立金からの借入金返済額	0	0	0	0	0	0		
	㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉘生産者積立金からの返還額(生産者分)	0	0	0	0	0	0		
	㉙生産者積立金からの返還額(県分)	0	0	0	0	0	0		
	㉚生産者積立金からの返還額(機構分)	0	0	0	0	0	0		
	㉛特別の積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉜生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	0	0	0	0	0	0		
	㉝生産者積立準備金からの返還額(県分)	0	0	0	0	0	0		
㉞生産者積立準備金からの返還額(機構分)	0	0	0	0	0	0			
4 期 末 残 高	内 訳	㉟生産者積立金(①+⑧+⑲+㉑+㉒+㉓+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛)	18,120,915	0	1,929,433	25,522,222	12,224,887	57,797,457	
		㊱生産者積立準備金(②+⑦+㉔+㉜+㉝+㉞+㉟)	—	—	—	—	—	125,297,467	
		㊲生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	2,314,319	
		㊳都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	122,983,148	
		㊴機構の生産者積立助成金充当分	0	0	0	0	0	0	

⑧ 特別の積立金管理状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高					0		0
増 加	特別納付金				0		0
	受入利息				0		0
	生産者積立金返還金				0		0
	小計				0		0
減 少	普通財産へ繰入				0		0
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	小計				0		0
期末残高					0		0

⑨ 償還円滑化積立金管理状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高			128,742		290,017	9,035,184	9,453,943
増 加	生産者積立準備金より繰入		0		0	0	0
	受入利息		46		103	3,213	3,362
	小計		46		103	3,213	3,362
減 少	機構へ償還		0		0	0	0
	全国協会へ償還		0		0	0	0
	小計		0		0	0	0
期末残高			128,788		290,120	9,038,397	9,457,305

⑩ 生産者補給交付金交付状況

(単位：頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛 和種	褐毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
令和3年 1月1日	交付対象 頭数 ①	販売			20			20
		保留			49			49
		合計			69			69
令和3年 3月31日	②生産者補給金単価				22,700			—
	③生産者補給金交付額 (①×②)				1,566,300			1,566,300
	交付対象生産者数				11			11
令和3年 4月1日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
令和3年 6月30日	②生産者補給金単価							
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
	交付対象生産者数							
令和3年 7月1日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
令和3年 9月30日	②生産者補給金単価							
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
	交付対象生産者数							
令和3年 10月1日	交付対象 頭数 ①	販売						
		保留						
		合計						
令和3年 12月31日	②生産者補給金単価							
	③生産者補給金交付額 (①×②)							
	交付対象生産者数							
令和3年 合計 1月1日	交付対象 頭数	販売	0	0	20			20
		保留	0	0	49			49
		合計	0	0	69			69
令和3年 12月31日	生産者補給金交付額		0	0	1,566,300			1,566,300
	交付対象生産者数		0	0	11			11

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度特別会計 (事業費 493,532,853円)

肉用牛肥育経営安定交付金制度の積立金管理者として生産者積立金の徴収及び基金管理の適正な運営を図った。

令和3年度基金管理状況 (令和4年3月31日現在)

(単位：円)

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		35,371,827	60,797,741	148,958,020	245,127,588
収 入	生産者積立金	244,300,000	68,432,000	99,715,000	192,577,000
	機構交付金	(35,202,690)	(102,750,064)	(299,287,327)	(437,240,081)
	受取利息	350	658	1,430	2,438
	計(B)	59,633,040	171,182,722	399,003,757	629,819,519
基金累計額(C=A+B)		95,004,867	231,980,463	547,961,777	874,947,107
支 出	補填金交付額	1,546,563	7,295,129	47,451,080	56,292,772
	補填金交付額(機構)	(35,202,690)	(102,750,064)	(299,287,327)	(437,240,081)
	計(D)	36,749,253	110,045,193	346,738,407	493,532,853
基金残額(C-D)		58,255,614	121,935,270	201,223,370	381,414,254

2 家畜衛生対策（継続2）

1. 補助事業

（1）家畜生産農場衛生対策事業（国補助・事業費 15,360,749円）

症状が明確でない慢性的な伝染性疾病の増加に加え、清浄化が困難な伝染性疾病の発生がみられることから、生産者サイドでの自主的・組織的な取組により疾病の清浄化及び発生・流行防止対策を推進し、損耗防止を図った。

①ヨーネ病早期清浄化のための自主淘汰の推進

患畜同居牛の自主淘汰促進： 淘汰推進費交付頭数 30頭（5戸）

②牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染拡大防止の推進

・抗体検査：6頭

・放牧場等対策：忌避駆除薬 8農場、防虫ネット 4農場、アブキャップ 8農場

③牛ウイルス性下痢（BVD）対策

・講習会：1回（R3.9.7 東北町）

・講演：「牛ウイルス性下痢（BVD）、肺炎と気管支肺胞洗浄について」

講師：北里大学獣医学部 大動物臨床学研究室 前田 洋佑 氏

・講演：「青森県の豚熱対策及び飼養衛生管理基準について」

講師：青森県農林水産部 畜産課 衛生・安全グループ 副参事 田中 慎一 氏

④農場飼養衛生管理強化対策（指定獣医師1名、農場指導20戸）

（2）牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助・事業費 4,092,131円）

牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況を正確に把握し BSE 防疫対策を検証するため、「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、死亡牛（96 月齢以上の死亡牛及び 48 月齢以上の起立不能牛等）の検査と適正処理の推進を図った。

死亡牛の管理促進費、輸送促進費及び化製処理費の補助： 対象頭数 252 頭

（3）獣医師養成確保修学資金給付事業（国補助・事業費 4,752,844円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発を図り、獣医師養成確保修学資金を給付した。

①修学資金給付者：2名（4,320,000円）

②共同負担者：（青森県 1名、NOSA I、1名）

（4）豚丹毒予防接種向上対策事業（市町村補助・事業費 30,300円）

豚丹毒の発生を防止することにより養豚産業の安定的な発展を図るため、本会が行う豚丹毒予防接種向上対策事業に要する経費の一部に対し、関係市町村が本会を經由して生産者に補助金を交付した。

①実施市町村： 七戸町

②補助対象頭数： 2,020頭（1頭当り15円）

(5) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,724,323円）

家畜伝染病の発生予防・まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動として推進会議の開催及び防疫演習を実施した。また、農場HACCP認証取得の構築指導を実施するとともに、既認証農場に対する内部検証等の取組を支援した。

①地域自衛防疫取組促進：事業推進検討会等開催 4回

②地域自衛防疫活動推進：

防疫演習 2地域（R3.9.16 十和田市、R3.11.7 むつ市）

③馬伝染性貧血自衛検査：競馬場入厩馬の自衛検査 2頭

④地域農場HACCP認証支援

・農場HACCP普及推進協議会・講習会：1回（十和田市）

・地域取組活動：意見交換会：2回（十和田市、むつ市）

・農場HACCP認証取得に係る構築指導：3戸（肉用牛 1戸、養豚 1戸、養鶏 1戸）

(6) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策推進協議会助成・事業費 1,184,393円）

全国的な野生獣（シカ、イノシシ）の増加を踏まえ、地域の畜産及び野生獣関係機関、団体等の連携を図り、衛生実態調査成績の検討を行う協議会等を開催した。また、猟友会等の協力により捕獲した野生獣の衛生実態調査を実施した。

①青森県野生獣衛生対策連絡協議会：1回（R3.9.17、書面開催）

ア 令和2年度の成績及び令和3年度の計画について

イ 全国の衛生実態調査について

ウ 青森県内の野生動物（ニホンジカとイノシシ）目撃情報等について

（情報提供：青森県環境生活部 自然保護課）

②野生獣の衛生対策推進講習会：（リモート開催）

〔家畜衛生対策推進協議会（事務局：中央畜産会）主催の講習会に参加〕

・演題 「豚熱（CSF）イノシシの発生状況と課題」

・講師 酪農学園大学 獣医学群獣医学類 教授 蒔田 浩平 氏

③野生獣衛生実態調査：ニホンジカ 18頭、イノシシ 2頭

2. 受託事業

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 845,249円）

馬の生産、流通の広域化等により伝染性疾病の侵入、流行の危険性も大きいことから、競走馬以外の馬の飼養衛生に関する講習会の開催、基礎調査等を実施し馬衛生管理の向上を図った。

①地域馬飼養衛生管理体制整備委員会開催：1回（R3.7.12 三沢市）

②馬飼養衛生管理技術地方講習会開催：1回（R4.1.28 十和田市）

講演「デンタルケアについて」

講師：イチヤマホースクリニック 一山 雄二郎 氏

講演「馬の飼養衛生管理基準について」

講師：十和田家畜保健衛生所 防疫課長 角田 公子 氏

③馬獣医療実態調査：2戸

- ④馬飼養衛生基礎技術実習：1回（R3.11.7 十和田市）
 講演「馬のBAL（気管支肺胞洗浄）について」
 講師：北里大学獣医学部 大動物臨床研究室 前田 洋佑 氏
 講演「馬の不妊治療について」
 講師：イチヤマホースクリニック 一山 雄二郎 氏

(2) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会委託・事業費 5,990,361円）

乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種及び軽種馬の繁殖牝馬を対象とした馬鼻肺炎ワクチン接種の推進並びに感染症対策の普及啓発の検討を行った。

- ①検討会の開催： 1回（R3.7.12 三沢市）
 ②馬インフルエンザ予防接種： 155頭
 ③馬鼻肺炎予防接種： 230頭（生ワクチン）

(3) 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会委託・事業費 1,101,323円）

軽種馬生産地における伝染性疾病の発生流行防止のため、育成馬の予防接種の徹底を図った。

- ①馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 273頭
 ②馬インフルエンザ予防接種 30頭
 ③馬日本脳炎予防接種 2頭

(4) 地域豚疾病低減対策強化事業（中央畜産会委託・事業費 12,486,196円）

地域一体となって飼養管理基準に基づいて疾病の発生低減・清浄化を目的に防疫対策強化を図るため、定期疾病検査を実施し、農場内の生産性を阻害する原因を解析し、効果的な疾病対策を検討するため推進会議及び講習会を開催した。

- ①地域推進会議：2回（三沢市、R3.10.20、リモート開催、R4.3.16）
 ②巡回指導：2回（4農場）
 ③モニタリング検査：豚農場11戸、（13農場）、6疾病、3回、（延べ1,602件）
 （PRRS、豚胸膜肺炎、マイコプラズマ肺炎、グレーサー病、PED、豚増殖性胃腸炎）

(5) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会委託・事業費 1,486,141円）

CSF（豚熱）、ASF（アフリカ豚熱）、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合の畜産経営への影響を緩和するため、経営再開までに必要な経費を互助補償する仕組みへの加入推進を図った。

- ①対象伝染病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱(ASF)、豚熱(CSF)
 ②互助金交付対象：・法に基づき殺処分した農場が経営再開のために家畜を導入した経費
 ・殺処分した家畜を焼却・埋却するため自ら負担した経費

③契約締結状況：（3年度末）

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額	備考
牛	664	56,191	8,406,565	
豚	30	360,124	47,947,090	
計	694	416,315	56,353,655	

3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 自衛防疫強化対策事業（事業費 385,123 円）

最近における家畜の飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業の効率的な推進を図った。

①事業推進会議 県推進会議 4回、地域推進会議 5地区

(R3.6.9 青森市、R3.7.6～15 各地区、R3.7.27 青森市、R4.2.22 書面開催)

(2) 自主防疫推進事業（予防接種事業）（事業費 56,817,974円）

家畜伝染病の発生・流行の防止のため、国・県の指導のもとに、生産者・市町村関係団体及び地区家畜衛生推進協議会による防疫体制の強化を図りながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業の円滑な推進を図った。（実績頭羽数：付表のとおり）

(3) 総合指導事業（事業費 540,576円）

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成並びに指定獣医師の技術向上等を図った。

①家畜防疫地域活性化促進事業 2地区実施

（東青地区）産業動物獣医療安定確保対策事業

獣医師の定期的な肉用牛飼養農家への巡回により、治療・繁殖検査等の診療機会の充実を図った。（24回、延べ144戸）

（むつ地区）ミルクキングシステム点検事業

正しい搾乳技術とミルクキングシステムの点検を促進し、乳質の向上と乳房炎の発生を予防し、酪農経営の安定を図った。（実施戸数：8戸）

②研修・広報事業

ア 地区研修会等開催状況 開催協議会：4地区、開催回数：延べ6回

(4) 自衛防疫指導事業（事業費 3,783,000 円）

地区家畜衛生推進協議会が行う自衛防疫関連事業及び研修広報事業等について、寄託金を財源として事業の円滑な推進を図った。（5地区）

(5) 家畜防疫互助推進事業（事業費 227,225円）

家畜防疫互助基金造成等支援事業の推進を補完した。

(6) 死亡牛処理管理促進事業（事業費 371,080 円）

死亡牛処理に係る産業廃棄物処理票（マニフェスト）の保管・管理等の適正化を促進することにより、死亡牛処理の円滑な推進を図った。（取扱頭数 2,927 頭）

付 表

(1) 自主防疫推進事業実績 (令和3年度)

① 家畜伝染病予防接種実績頭数

(単位：円/頭・羽)

区 分	3年度 計画頭数	3年度 実績頭数	地区協議会別実績頭数					
			東 青	三 八	上十三	む つ	津 軽	
(1) 補助等事業								
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	350	273	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	50	30					
	日本脳炎(不)	10	2					
	馬鼻肺炎(生)	250	231					
	馬インフルエンザ(不・自衛防)	170	155					
(2) 協会事業								
豚	豚丹毒(生20ml)	19,700	17,627		1,711	12,878		2,978
	豚丹毒(生50ml)	15,000	19,429		13,229	6,200		
	豚丹毒(不50ml)	6,000	6,000		6,000			
	日本脳炎(生)	500	400			400		
	日本脳炎・豚パルボ混合(生)	200	340			340		
牛	牛アカバネ病	6,750	5,982	155	1,289	3,042	933	572
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	10,590	10,002	164	1,938	5,803	1,451	682
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	155	281	72	6	95	71	37
	牛ヘモフィルス感染症	9,090	9,046	161	1,926	4,884	1,412	663
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	5,810	5,169	213	876	2,451	1,129	500
	牛下痢5種混合(不)	95	115	64	2			49
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	110	114	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	15	25					
	日本脳炎(不)	45	51					
鶏	ニューカッスル病(ND)	59,000	59,000		3,000			56,000
	ニューカッスル病・IB(混)	58,000	60,000	3,000				57,000